

P2～P7

レポート：団体活動交流会／団体紹介

人生60歳からがオモシロイ！

～心身の健康を保ち、日々の生活を楽しむ

仲間づくりのための取り組みを探る～

P8

市民活動お役立ち情報

助成金情報はどこから得るの？

P8

編集スタッフのつぶやき

今月の表紙「食事もできるスポーツクラブ!?!」

「温かいものを食べるとホッとするわね」。営業中の看板を見てふらっと立ち寄ったというおばあちゃんと女性。柔らかな目差しと落ち着いた照明が醸し出す優しい雰囲気に溶け込むように、お昼のひとときを楽しんでいました。

ここは今年9月、仙北市のNPO法人角館総合型地域スポーツクラブ内にオープンしたスポーツカフェ「アスリート」。うどんやそば、スパゲティ、コーヒーなどが楽しめます。スポーツクラブの利用者をはじめ、ふらっと立ち寄るお客さんも徐々に増えてきました。「スポーツをすることと同じくらい、食は健康づくりに大切な要素だ」と代表の狐崎さんは言います。今後は薬膳料理もメニューに加える準備を進めているそうです。

今月の特集は「高齢者の健康づくり」がテーマ。どんなお話が飛び出すでしょうか。(P2～5団体活動交流会「人生60歳からがオモシロイ!」)



レポート：団体活動交流会 渡部彰夫氏×狐崎捷琅氏×人星亭喜楽駄朗氏

人生 60 歳からがオモシロイ！

～心身の健康を保ち、日々を楽しむ仲間づくりのための取り組みを探る～

高齢化率全国一位の秋田県。心身ともに元気な高齢者を増やしていくことは、これからの社会のための重要な取り組みだと言われている。今月は、スポーツや文化活動、交流会の開催など、様々な形で地域の高齢者の生きがいや健康づくり、社会参画の推進を行っている2団体と、全国各地で高齢者を笑いの渦に巻き込むステージ活動を行っている方をお招きし、9月22日、団体活動交流会を開催した。場所は、湯沢市で活動する「こしやぐまげでわりんしの会」が設置したコミュニティサロン「元気の出る集まり処 こしやぐまげ」。笑いの絶えない和やかな雰囲気のもと、高齢者が元気で過ごすために必要なことやその取り組みについて熱く語りあった。(高橋幸子)

活動内容を教えてください

渡部 こしやぐまげでわりんしの会は、湯沢市で地域のみなさんが気軽に集えるサロンを作り、運営しています。ここに集まる人たちと運営側の私たちが、お互いに元気になれるような場でありたいという願いをこめて「元気の出る集まり処 こしやぐまげ」と名付けました。ここ数年、景気の落ち込みや震災など、世の中では大変な状況が続いています。その影響からか、私はだんだんと地域に元気が無くなってきたように感じました。そして、元気を取り戻すためには、一人ひとりが心にゆとりや楽しみを持つていかななくてはならないと思っただけです。そこで自分に何かできることはないかを考え、昨年7月、仲間と共にサロンを作りました。ここは予約制で、食事も提供しています。地域の高齢者のお茶飲み場としてではなく、ボランティア団体の打ち合わせや勉強会にも利用してもらっています。

狐崎 私たちは、スポーツクラブの運営を通して、小学生からお年寄りまで、幅広い世代の人たちが集まる場所づくりをしています。クラブをはじめたきっかけは、平成13年に日本体育協会と文部科学省が、全国で総合型地域スポーツクラブを立ち上げる事業があることを知ったことです。私はか

Profile



人星亭喜楽駄朗
Jinseitei Kirakudaro

日本笑い学会秋田県人会
会長



狐崎 捷琅
Toshiro Kitunezaki

NPO 法人角館総合型地域
スポーツクラブ
理事長



渡部 彰夫
Akio Watanabe

こしやぐまげでわりんしの会
代表

つて日本体育協会主催の研修に参加し、イギリスのスポーツ施設を見学しに行ったことがあります。そのクラブでは、練習を見に来た地域の高齢者に選手がコーヒールを入れ、親しげに会話をしていたんです。日本にはない光景に感銘を受けました。イギリスでは高齢者がスポーツクラブに来て元気をもらって帰るんです。地元にも同じような場所を作りたいと思っただけのことから、その事業を受託し、平成17年に立ち上げました。クラブで提供しているメニューは、体づくり、グラウンドゴルフ、卓球、トレッキング、スポーツ吹き矢などです。また、囲碁、健康麻雀、カラオケなども取り入れています。健康は、体、心、脳の活性など、多角的にみていかなければならぬので、スポーツと頭を使うことが同時にできれば心身の健康づくりがバランスよくできると思うのです。また、健康には栄養面でのアプローチも大事になると考え、今年9月には施設内に食堂もオープンしました。

人星亭 私は笑いを通して高齢者に元気と生きがいを持ってもらいたいという想いで、8年前から県内外で講演や漫談などのステージ活動を行っています。活動を始める前、私は超真面目な県職員として働いていたのですが、ある時「笑学校イン秋田」というイベントに興味をそそられて出

かけたことが、私の人生を180度変えてしまったんです。日本笑い学会東北支部主催のそのイベントで、支部長のあいさつがいきなり「わっはっは、わっはっは〜！」という大笑いだったんです。出席者にも「立ち上がって同じように大笑いするように」と言うので、みんな恥ずかしそうに小さい声で「わっはっは〜」と言ったら「もっと大きな声で！」と。私はもう逃れられないと腹をくりしました。恥も外聞も捨ててこれまでの人生で最大級の全身大笑いしたんです。そうしたら、とてもいい気分になって、これまでの人生のモヤモヤが一気に放出されたような気持ちになりました。「これだ！私も笑いを通して、周りの人たちの人生を明るくしていきたい」と思っただけです。その場ですぐ笑い学会への入会手続きをしました。現在は、病を抱える方に笑いで元気になってほしいとの想いで県内の病院でイベントを開催したり、高齢者に生きる楽しさや希望を伝えるワークショップを開いたりしています。

「食」によって生まれる物事がある。

人星亭 ところで渡部さん、「こしやぐまげ」とはどういう意味ですか。

渡部 このあたりの方言で世話を焼くという意味です。「こしやぐまげ

でわりんし」は直訳すると「世話焼きをしてごめんなさいね」ということになりませんが、この地域ならではの愛嬌というのでしょうか。世話焼きもありがたいうるか、そういう地域のつながりを表す温かい雰囲気を感じたいと思っただけです。活動を始めてからは世の中の低迷を強く感じるようになって、ますます「こしやぐまげ」一人が必要とされているように思います。今日は、特製のがつこ(漬物)とお茶でおもてなしをしたいと思います。準備をさせてもらいました。ぜひお召し上がりください。

人星亭 ああ、なるほど！そういうことですか。私は男鹿在住なので、ちょっとピンと来ませんでした。それにしてもこの漬物、美味しいですね。

狐崎 本当だ。これはうまい。どなたかに作ってもらっているんですか。

渡部 これは私が漬けました。実は料理が好きで、湯沢市で唯一男性の食生活改善推進員としても活動しているんですよ。自分ができることを最大限に生かして地域に貢献することが私の理想です。今では「こしやぐまげ」のオーナーシェフです。

人星亭 実は私も料理が好きで、6年前からメンズクッキングの講習に参加しているんですよ。食を楽しむことも健康には大事な要素ですね。
渡部 そうですすね。狐崎さんのク

ラブには食堂があるということですが、ご自身は料理されませんか。
狐崎 私は料理はしないんです。食堂は、地域の主婦を雇って料理をしてもらっています。開店前には地元料理店のシェフに料理指導をお願いしました。今でも時々味見に来てはアドバイスをくださいます。主婦のみならずも、勉強になると言っています。

渡部 地域の方々のつながりを生かした運営をされているんですね。
狐崎 短時間しか働けない主婦の方たちもいますからね。4人集まると何とかシフトを組んで回すことができるようになりますよ。

渡部 なるほど。雇用を生み出すと地域がさらに元気になりそうですね。食があるのと、人と人とのつながりも深まりますよね。私たちが、それを狙って「こしゃぐまげ」を食事処としました。ただ、なかなか、お茶を飲みに来る高齢者が少ないのが現状です。発信の仕方にも工夫が必要だと思います。

狐崎 高齢者には2つのタイプがあると思います。仲間と一緒に何かをしたい人と、あまり人と接触したくない人。家の中に閉じこもっている人たちに、いかに外に出てきてもらうきっかけを作るのが大事ですよ。
人星亭 同感です。私の周りでも定年退職してから友達ができないという

悩みをよく聞きます。そういう方には勇気を出して外に出てみてほしいんです。イベントに行ったり、様々な活動に参加したりすれば友達が自然とできます。食事やリラックスした語らうができる場があることも、高齢者がいに出るきっかけになりそうですね。

人が集まる拠点づくりのポイント。

渡部 ここにお茶を飲みにくる方は近くに住む高齢者の方が多いです。他には、湯沢ジオパークガイドの方々が、勉強会や打ち合わせ会場としても利用してくださいますよ。

狐崎 会合にちょうど良い広さですね。渡部さんほどに改装しましたか。私たちのクラブは地元の大型基金店の倉庫を借りて改装しました。体育館や交流スペース、食堂などの各部屋を作るときは、廃校となった学校の床を譲ってもらい再利用したり、地域の人たちが不要になった備品を寄付してもらったりしました。総工費は20万円です。

渡部 元々は畳屋さんだった店舗を借りました。私は日曜大工も趣味でしたので、水回り以外の内装はすべて自分の手で作りました。ステージも設置して演芸会のような催しもできるようにしたんです。全体で約30畳くらいあるのですが、この広さがちょうどいいかなと思います。

どいい規模です。まだまだ手を加える余地があり、今後もっとみなさんが使いやすいように工夫して少しずつ改良していくつもりです。
人星亭 いいですね、この広さ。このステージはお客さんと距離が近く、コミュニケーションを取りやすいと思いますよ。

笑うことが持つ力がある。

渡部 人星亭さんは笑いとは無縁の人生からの転身ということでしたが、お笑いの勉強はどのようにされたんですか。
人星亭 私が日本笑い学会に入会した頃は、図書館に行って、外国のユーモアやジョーク、江戸時代の笑い話や小唄などを読み込んで、笑いのパターンを研究しました。それを現代風にアレンジして話のネタを作り、人前で話してみたら、みんなが笑ってくれたんです。それでコツをつかみました。

渡部 活動範囲は県内ですか。
人星亭 ライフショーや学会発表で全国各地を駆け回っていますよ。私は今65歳ですが「退職後は第2の人生」ではなく「60歳からが人生劇場の本番」だと思うんです。ステージでも、やりたかったことがあれば「今さら」ではなく「今から」思う存分やりましようと思えます。好きなこと

狐崎 目的があるから人は出かけるんですよね。私たちの体育館にも舞台があるので、そこで時々演奏やイベントなどをやりますよ。劇団退職者の方々にお願いして、歌やピアノ、ギターなどを演奏してもらっています。人星亭さんにも今後ぜひいらして頂きたいですね。

今後の展望

人星亭 今日みなさんとお話して、やりたいことが見えてきました。私は「笑い」を提供する仲間を増やすために弟子の育成も行っているのですが、県南地区にも育てたいと思っています。そのためにも、呼ばれたらどこへでも行きますよ。私はこの活動を研究会だけにはしたくないと思っています。なので、地域に出て、みなさんに「笑い」を提供して、高齢者の健康づくりと明るい地域づくりに貢献していきたいと思っています。

渡部 私は、もっと多くの方に「こしゃぐまげ」を利用して頂きたいです。そのために、ジオパークを見学して湯沢に宿泊される方をここに招待して、美味しいお料理やお酒を囲んで交流するような企画を考えていきたいです。人星亭さんにもステージで漫談していただくと盛り上がるでしょうね。狐崎さんのスポーツクラブに

をやっている高齢者はイキイキと輝いて見えます。高齢者を元気づけ、生きがいを提供することが私の使命だと思っています。
狐崎 笑いは良いですね。私も漫談は好きです。笑うと体にいいことがたくさんあるんですね。
人星亭 そうなんですよ。笑うことによって、病気に対する免疫力が上がるといわれています。だから、病気になることも落ち込みすぎないで、笑ってほしい。私は、病院に行つて患者さんを笑わせることが自分のミッション（使命）だと思い、県内外の病院で「笑学校」という笑いイベントを開催しています。歳をとればみんな多かれ少なかれ不調は出てきます。私も毎日薬を飲んでいますが、でもね、病気を抱えている姿勢でも、病気の肩を抱いて頭をなでながら、一緒に人生を歩むという姿勢が良いと思うんです。病気がなくなったから何もできないのではなく、病気がなくても人生を楽しんでいきたいですね。

渡部 笑いには場を和ませる力もありますよね。私も湯沢ジオパークガイドとして、お客さんを案内する機会があります。9時〜15時までかかるのですが、すべてジオパークの話をしていてもお客さんが飽きてしまうんですね。そこで「笑い」の力を借りると場が和むんです。

も一度見学行つてみたいです。
狐崎 ぜひいらしてください。私これから「医食動源1」に力を入れて、バランスのとれた美味しい食事、例えば糖尿病や高血圧などの予防定食などを提供したいと考えています。10月には食堂の隣にカフェもオープンする予定です。スポーツと食を通して、地域の人たちの健康づくりにより一層貢献していきたいです。

渡部 私ももっと料理を学びたいですね。持ち寄りで料理研究会をするのもいいですね。
狐崎 そうですね。ぜひやりましょう。これからもよろしくお願ひします。
人星亭 これからもお互いに手を携えてがんばっていきましょう。



こしゃぐまげでわりんしの会

湯沢市で地域住民のための集まり如「こしゃぐまげ」を運営。営業は不定休。昼夜とも予約制で希望があれば食事も提供する。TEL:090-8929-5616 (渡部さん)



NPO 法人角館総合型地域スポーツクラブ

角館で多世代が交流できるスポーツクラブを運営。健康麻雀などの文化活動も楽しめる。食堂もあり (営業時間 11:00~15:00、木曜休)。TEL:0187-54-1505



日本笑い学会秋田県人会

笑いで地域を明るくしようとするステージ活動などを行っている。本部は大阪にあり、会員は全国に散らばる。秋田県人会会員は8名。TEL:090-5232-8009 (人星亭さん)

12月の団体活動交流会

◆テーマ：「国民文化祭、その後」
 ▽日時：11月上旬頃 ※詳細は、10月下旬にサポセンブログで。

*1 医食動源 角館総合型地域スポーツクラブが理想として掲げる考え方。本来の使い方は「医食動源(バランスのとれた食事)」によって病気を予防・治療しようという意「だが、「同」の字を「動」とし、健康づくりに医療、食事、運動の3つのバランスが大事であると掲げている。



ふれ愛塾

地域住民が元気になれる居場所づくりと、家事支援や通院付添など住民が互いに助け合うことを目的とした支え合い活動を行っています。ふれ愛塾のサロンは茶の間風のアットホームな雰囲気。毎週月曜日に、手芸、健康体操、ミニコンサート、バザー、ゲーム、ピクニックなどの企画やお茶っこ飲み、昼食会を楽しんでいます。また、第3月曜日は近隣の介護施設を利用している高齢者に立ち寄りてもらおう日になっています。誰もが気軽に訪れ、つながりづくりができる雰囲気を大事にしています。サロンに訪れる人全員が、互いに尊重し合い、笑顔と元気を持ち帰ることができるサロンです。みなさんもぜひ仲間づくりに訪れてみませんか。(高橋幸子)

団体詳細

【代表】菊地恵子さん
【連絡先】TEL : 070-5324-6052
【開館時間】月曜日
10:00~14:00
(第5月曜は休み)
【場所】横手市安田字塚添 41-8



12月10日号でご紹介する団体交流会のテーマは「国民文化祭、その後」です。10月4日~11月3日、秋田県では国民文化祭が開催され、各地で様々な文化イベントが行われています。この動きを一過性のもので終わらせないために考え、動くようしている団体・個人に関する情報を探しています。みなさんの活動を読者に届けてみませんか。

以下の情報をお寄せください

- ①団体名、代表者、連絡先/②活動を始めたきっかけ/③活動目的/④活動内容/⑤読者の方にお知らせしたいこと(イベント等の場合は、12月15日以降の情報)
- 【※切】11月15日(土)
- 【送付先】南部市民活動サポートセンター
- 【TEL】0182-33-7002【FAX】0182-33-7038

ふれあい・いきいきサロン

社会福祉協議会は、地域に住む高齢者の閉じこもり防止や介護予防などを目的とした高齢者の交流と仲間づくりの場として「ふれあい・いきいきサロン」を設置しています。お茶を飲みながらの交流会、小旅行やお楽しみ会の企画実施、また保健師を招いての血圧測定や健康講座の開催など、様々な活動を行っています。当初の立ち上げは各地の社協が行いましたが、現在では、利用者である高齢者自身が積極的にその運営や企画に関わり、自主的な活動を行うサロンが増えています。詳細はお住まいの地域の社協にお問い合わせください。(高橋幸子)

【社会福祉協議会の連絡先】

仙北市 TEL:0187-52-1624 大仙市 TEL:0187-63-0277
美郷町 TEL:0187-85-2294 横手市 TEL:0182-36-5377
湯沢市 TEL:0183-73-8696 羽後町 TEL:0183-62-5313
東成瀬村 TEL:0182-47-2700



コーヒーサロンふきのとう

東成瀬村社会福祉協議会が高齢者の居場所づくりを目的として平成22年に設置したコーヒーサロン。今では、利用者が主体となって運営が行われています。例えば、主に男性利用者による「コーヒー協力隊」が、集まった他の利用者にコーヒーを振るまったり、農家を営む利用者が農産物や花を販売したりしています。時には、1人1品料理を持ち込むこともあります。協力金100円でコーヒーやしいたげ茶、漬物や茶菓子を楽しむことができます。アットホームで暖やかなサロンです。ふらっと訪れてみませんか。(藤井里美)

団体詳細

【代表】佐々木慶子さん
【連絡先】TEL : 0182-47-2596
【開館時間】火・木・土曜日
10:00~15:00
【場所】東成瀬村田子内
宇田子内 40-2 農村交流センター内
【関連URL】「東成瀬村社会福祉協議会 ふきのとう」で検索



高齢者支援をテーマに活動する団体やサロンをご紹介します。



横手ひらか健康長寿達成 NPO

地域で暮らす高齢者が生涯健康で、生きがいを持って生活できる社会を目指し、スポーツなどで体を動かす機会づくりや会員の交流による仲間づくりを行っています。平成14年に発足し、現在は60~90代まで210人ほどの会員がいます。健康づくり活動は、グラウンドゴルフや早朝ウォーキング、食生活の改善や健康講座など、幅広い内容。「仲間とともに汗を流したり新しいことを学んだりすることで、気持ちも明るくなり、日々元気で過ごすことができるようになる」と会員の方は言います。高齢者の元気は地域の元気!みなさんも一緒に健康づくりをしていきませんか。(高橋幸子)

団体詳細

【代表】佐々木勇一さん
【連絡先】TEL : 0182-32-2229
(事務局 七尾さん)
【関連URL】「横手ひらか健康長寿達成 NPO」で検索



奉友会

自分たちのまち、美郷町を自分たちできれいにしようと、公共施設周辺やラベンダー園などの清掃活動に取り組んでいます。昭和58年に設立され、現在は千畑地区に住む60~80代の高齢者222人で活動しています。十数年前からは、子どもたちの自主性を育てることを目的としたジュニアキャンプの企画運営を他団体から引き継ぎ、屋外調理やテント設営などの手伝いを通して、子どもの健全育成にも取り組むようになりました。活動は、会員にとって退職後の生きがいづくりや仲間づくりの場にもなっているそうです。自分のためだけではなく、まちのためになる活動に誇りを持って活動していると言えます。町外からの参加も大歓迎。みなさんもぜひ一緒に地域を良くする活動に参加してみませんか。(高橋幸子)

団体詳細

【代表】戸澤勉さん
【連絡先】TEL : 0187-85-3813
【関連URL】「美郷町奉友会」で検索



イチの会

頭と手を使うことによる脳の老化防止と仲間との交流、生きがいづくりのため、月2回南部男女共同参画センターでパソコン操作を学び合っています。現在60~70代の5人で活動をしています。電源の入れ方も分からない「イチ」からスタートしましたが、今ではインターネットで温泉宿を予約することができるようになった会員もいます。今後はインターネットを使った買い物やメールの送受信、活動紹介チラシの作成もしてみたいと考えています。パソコンを覚えると生活の中に楽しみが増えるとのこと。みなさんも、イチの会で一緒に学んでみませんか。(高橋幸子)

団体詳細

【代表】斎藤栄一さん
【連絡先】TEL : 0182-32-1827



若竹元気くらぶ

60~70歳の女性が集まり、認知症を予防し、健康で自立した日常生活を送り続けることを目的に活動しています。平成20年に羽後町が行った認知症を診断するための検査をきっかけに活動が始められました。活動は月に2回。健康増進のための体操や、栄養士からのレシピ提供を受けた料理教室などを行っています。また、ウォーキングには特に力を入れていて、専門家から正しい歩き方を学び、日常的に歩くことを意識して日々の継続を大切にしています。年に数回は、ウォーキングを兼ねた小旅行を開催し、会員同士の親睦も深めています。自分のできることを楽しく無理なく続けて生涯現役!(橋谷仁志)

団体詳細

【代表】上法篤子さん
【連絡先】TEL : 0183-62-5312
(羽後町地域包括支援センター)



THEMA



助成金情報はどこから得るの？

10月になりNPO活動も後半戦に入りますが、翌年度へ向けた事業戦略を練る時期でもあります。営利を目的としないボランティア団体やNPOにとって、会費や寄付などの自主財源を補強する活動資金を得ることは大事な仕事です。中でも助成金は、活動に弾みをつけるための大きなインパクトとなります。

6～9月号では、NPOのお金に関することを紹介してきました。今月号では助成金情報の入手方法について取り上げてみます。(高橋茂)

助成金には、国や県、市町村などが行う公的なものと企業系財団などが行うものとあります。

■ 公的助成金情報は 関係部署から入手できる。

公的な助成金情報は、国や県、市町村のホームページに公募情報が掲載されていますので、定期的にチェックしておくようにしましょう。訪問する方法も有効です。自分がやろうと考えている活動分野に関連している部署へ訪問して相談してみましょう。そのことによって、情報提供を受けやすくなるかもしれません。

公的な助成金の場合、単年度事業(一年単位で完結する事業)として、年度の前半(5月～8月頃)に公募がなされ、年度末(翌年2月か3月頃)に終了するものが多いですが、年度途中の公募もありますので、該当する部署に相談し早めに情報収集しておくようにしましょう。

ちなみに秋田県の場合、県のホームページ「美の国あきたネット」から「分野別で探す」「各課別で探す」等から入っていくと関連ページに公募情報が掲載されています。

■ 民間の助成金情報は 下記ホームページから入手できる。

民間の助成金は、特色のあるテーマを掲げているものもあり、公募時期や事業期間も多種多様です。多くの情報を調べることでより自団体の活動に見合った助成金が見つかる可能性も高まります。

民間の助成金に関しては、インターネットで検索する方法がおすすめです。今回は、複数の助成金情報をまとめて掲載しているサイトを紹介します。

- ◆ CANPAN FIELD (日本財団が運営)
<http://fields.canpan.info/>
- ◆ 助成財団センターのホームページ
<http://www.jfc.or.jp/>
- ◆ NPOWEB (シーズが運営)
<http://www.npoweb.jp/>
- ◆ 秋田県市民活動情報ネット (秋田県が設置)
<http://www.akita-kenmin.jp/>

■ まずは相談してみよう！

申請前に相談することをお勧めします。内容を確認できるだけでなく、担当者に自団体の活動を知ってもらう良い機会です。

- ◆ 南部市民活動サポートセンター TEL.0182-33-7002

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

ハンサン 2014年10月10日発行
10月号 VOL.96

発行：秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王西四丁目1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター (南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00～18:00
土 9:00～17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29～1/3)

〒013-0046 横手市神明町1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail.ssc7002@luck.ocn.ne.jp

<http://www.akita-kenmin.jp/hg030001>



編集スタッフの VOL.06
つづやき

NPO強化支援員
橋谷 仁志

日まじに寒さの増してくる10月になりました。あちこちの田んぼで稲刈り作業も進み、収穫の秋を迎えています。おいしいお米は秋田の宝ですね。私の住む横手市では、リンゴやブドウなどの美味しいフルーツもまさに食べごろです。芋の子汁もなかなか。先日は趣味の茶道の集まりで仙北市の西明寺栗を頂きました。大きくてふっくらとして甘くて、こちらも大変おいしく頂戴しました。今月4日から始まった国民文化祭では、約1ヵ月の間、県内各地で地域の特色を活かした様々な催し物が開催されます。せっかくの機会なので各地のイベントに足を運んでおいしいものを味わいつつ、地域の魅力を再確認するのもいいと思いませんか。